

平成26年度

施策評価マネジメントシート(平成25年度の実績評価)

記入年月日

平成 26 年 6 月 10 日

施策No.	政策名	市民と行政による豊かな地域の自治づくり	主管課	企画課	主管課長名	佐藤 勤
106	施策名	広域行政の推進	関係課	秘書広報課、生活安全課、生涯学習課、都市整備課、環境対策課、商工観光課、健康推進課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	相互協力による行政サービスの提供や地域連携が図られる。	他自治体	①地域連携している自治体数	団体	見込値	/	/	4	4	4	4	4	4
実績値					4	4	4	4	4				
見込値			/	/									
実績値													
見込値			/	/									
実績値													
施策の意図		成果指標名	単位	区分	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合 ②広域の自治体が共同で行っている行政サービス数 ③相互連携している事業数	①市民の利用満足度及び行政サービスの事業数でみる。(筑西広域市町村圏事務組合:筑西市、結城市、桜川市) (筑北環境衛生組合:笠間市、桜川市) (県西総合病院組合:筑西市、桜川市) ・また、③相互連携している事業数(義士親善、報徳研究会、防災協定数)が維持できれば、相互連携が保たれていると考える。	%	目標値	/	/	70.2	77.0	77.0	77.0	80.0	80.0
					実績値	72.3	76.6	69.4	74.7	73.9			
			件	目標値	/	/	9	9	9	9	9	9	9
	実績値			10	10	9	9	9					
	件		目標値	/	/	3	3	3	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3	3	3					
目標値	/	/											
実績値													
成果指標設定の考え方		・広域の自治体が共同で行っているサービスに対する成果指標は、①市民の利用満足度及び行政サービスの事業数でみる。(筑西広域市町村圏事務組合:筑西市、結城市、桜川市) (筑北環境衛生組合:笠間市、桜川市) (県西総合病院組合:筑西市、桜川市) ・また、③相互連携している事業数(義士親善、報徳研究会、防災協定数)が維持できれば、相互連携が保たれていると考える。											
成果指標の把握方法と算定式等		・対象の人口は、毎年10月1日の常住人口。 ・共同処理している行政サービスの数は、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)											

2. 施策の役割分担と状況変化

役割分担	1)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民や地域、行政と協働でやるべきこと) ○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況に関心を持つ。 ○周辺自治体の住民と連携し、地域の活性化に努める。 ○友好都市との市民レベルでの文化交流や経済交流に努める。	2)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと) ○筑西広域市町村圏事務組合をはじめ、桜川市が加盟する広域行政組織の運営状況について、適切な情報提供に努める。 ○広域行政組織の運営に積極的に関与する。 ○友好都市との文化交流や経済交流に努める。
状況変化	3)施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか? ○市町村合併により、広域で実施する事務の形態の見直し課題となっている。 ○消防の広域連携についても提案されている。 ○福祉センター「あまびき」が平成23年度から廃止された。 ○中核病院の整備について検討し、中核病院は筑西市、県西総合病院は桜川市がそれぞれで整備することになった。	4)この施策に対して住民、議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ○市民アンケートの満足度優先度調査から、満足度はかなり高く、優先度は比較的高い位置づけがある。

3. 基本事業の目的と指標

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
① 広域市町村圏事業の推進	一部事務組合	相互協力による行政サービスが提供されている	広域の自治体が共同で行っている行政サービス数	実績値							
				件	10	9	9	9			
② 他自治体との連携強化	相互連携協定等を結んでいる自治体 地域連携をしていない自治体	相互協力により地域連携が図られる。	相互連携している事業数	実績値							
				団体	3	3	3	3			
③				実績値							

4. 施策のコストの実績(施策を構成する事務事業シートより積算)

	項目	単位	24年度実績	25年度実績	26年度予算
施策のコスト	①本施策を構成する事務事業の数	件	19	19	18
	②施策事業費(一般財源以外)	千円	0	0	0
	③施策事業費(一般財源)	千円	101,930	100,386	98,804
	④施策事業費の計(②+③)	千円	101,930	100,386	98,804
	⑤施策人件費(事務事業の人件費合計)	千円	2,177	3,326	2,297
	⑥ 計 (④+⑤)	千円	104,107	103,712	101,101

5. 施策に関連する主要事業等

関連する事務事業	区分	事務事業名	摘要
	事務事業	全国報徳研究会市町村参画事業	H25貢献度上位、H26優先度上位
事務事業	いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業	H25貢献度上位、H26優先度上位	

施策番号	106	施策名	広域行政の推進	主管課	企画課
------	-----	-----	---------	-----	-----

6. 施策の成果水準とその背景・要因

1)-①現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)					
実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)		
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した			
背景・要因	<p>・広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、19年度が66.0%、20年度が70.2%、21年度が72.3%、22年度76.6%、23年度69.4%、24年度が74.7%、25年度が73.9%である。23年度が低い原因として、震災の影響で営業をしていない施設が多かったことや「福祉センターあまびき」の廃止による一因と考えられるが、ほぼ横ばい状態となっている。</p> <p>・広域の自治体が共同で行っている行政サービスについては、消防、救急、ごみ処理、火葬場、遊湯館、県西運動公園、筑西地域職業訓練センター(筑西広域市町村圏事務組合)、し尿処理(筑北環境衛生組合)、病院(県西総合病院組合)の9事業であり、「福祉センターあまびき」については、22年度末に事業を終了した。</p> <p>・相互連携している事業については、義士親善、報徳研究会、防災協定である。</p> <p>・満足していない広域行政サービスについては、満足していないと答えた人の中で、ごみ処理が23年33.1%、24年度34.3%、25年度31.9%、救急事業が23年34.4%、24年度30.6%、25年度44.6%、火葬場が23年18.3%、24年度21.1%、25年度13.6%、消防事業23年8.5%、24年度8.0%、25年度9.9%で、救急事業で満足していない割合が最も高くなっている。</p> <p>・他自治体との連携強化に関しては、平成25年2月19日に笠間市を含めた県西地域の11市町間で、災害時の応援協定が締結され一応の成果があった。</p>				

1)-②成果目標の達成状況					
実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った	<input type="checkbox"/> 目標値のすべてが上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った		
	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> すべての成果指標で目標値を下回った		
背景・要因	<p>①広域の自治体が共同で行っている行政サービスに満足している市民の割合は、25年度の目標値に対して、3.1ポイント下回った。</p> <p>②広域の自治体が共同で行っている行政サービス数と③相互連携している事業数については、目標値通りの成果であった。</p>				

2)他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか低いのか、その背景・要因は?)					
実績比較	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり高い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 他の自治体とほぼ同水準である		
	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 他の自治体よりかなり低い水準である			
背景・要因	<p>・近隣自治体も、広域自治体で組合を組織しごみ処理等の事業を行っている。</p> <p>・相互協力による地域連携についても、他自治体と比べほぼ同水準である。</p>				

3)住民の期待水準との比較(住民の期待よりも高い水準なのか、同程度なのか、低いのか)、その他の特徴は?					
実績比較	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり高い水準である	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば高い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待とほぼ同水準である		
	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりどちらかといえば低い水準である	<input type="checkbox"/> 市民の期待よりかなり低い水準である			
背景・特徴	<p>・市民アンケートについては、「広域行政が行っている行政サービスに満足していますか」の問いに、「満足している」が14.8%、「どちらかと言えば満足している」が59.1%であり、合すると73.9%となっている。前年度と比較すると0.8ポイント低下しているものの、比較的高い満足度を保っている。</p> <p>・広域行政組織で行う行政サービスに対して満足していない市民の割合は20.7%で、前年度の21.0%に比べ0.3ポイント回復した。その内訳はここ数年変わらず、救急業務・ごみ処理が高い割合を示している。</p>				

7. 施策の成果実績に対しての、これまでの主な取り組み(事務事業)の総括

前年度の取組状況と課題	<p>施策成果の向上に貢献した事務事業の総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25年度においては、「地域連携をしている自治体(事務組合)」を重点対象に、「相互協力により地域連携が図られる」を重点意図として取り組んだ。 ・事務事業貢献度評価結果から、施策の成果向上に貢献した事務事業は「全国報徳研究会市町村参画事業」「いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業」であった。 ・「全国報徳研究会市町村参画事業」では、「第19回報徳サミット茨野市大会」に参加、桜川市から一般募集した市民27名と共に参加した。また、『全国報徳研究会市町村協議会相馬双葉地方の子ども支援部会』により震災孤児等への学資支援等を実施している。 ・「いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業」では、ひたち海浜公園で開催されたオータムフェスティバル2013において、北関沿線地域PRブースを設置し、観光パンフレットの配布、ステージでの桜川市PR等を実施した。また、桜川市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援し、茨城県立真壁高校の農産物・加工品、岩瀬そばの会の新そば、市内外の出店者のクラフト等、82店舗が出店し、約3,000人が来場した。 				
-------------	---	--	--	--	--

8. 今後の課題と方針

区分	今後の課題	今後の方針
施策全体	・筑西広域市町村圏事務組合の分賦金(運営負担金)については、自治体の厳しい財政状況を勘案し、より効率的、効果的な事業運営を求めて行く必要がある。	・市民生活圏の拡大、市民ニーズの高度化・多様化に対応するため、一部事務組合で実施してきた消防・ごみ処理・し尿処理・病院等について、効率的且つ効果的な事業運営を求めながら、引き続き広域的な自治体連携により実施する。 ・災害時防災協定についても連携体制の強化を図る。
基本事業	①広域市町村圏事業の推進	・関係自治体及び筑西広域市町村圏事務組合と連携し、情報の共有化を図り、既存の広域事業の経費削減に努め、効率化を図る。
	②他自治体との連携強化	・友好都市との親善交流に努め、災害時の応援協定など、連携協力体制を強化する。